

### ■ドイツ：ハンブルク市、市営電力会社を新たに設立

ハンブルク市は、2009年5月15日、ハンブルク市とその周辺地域に電力供給を行うハンブルク・エネルギー社の設立を決定した。同市は過去にハンブルク電力（HEW）という電力会社を保有し、電気事業を営んでいたこともあったが、2002年にスウェーデンのバッテンファル社にHEWを売却したのを機に電気事業経営からは遠ざかっていた。ハンブルク・エネルギー社は、今後、ハンブルク市内の電力供給においてバッテンファル社（かつてのHEW）をはじめとする大手電気事業者と顧客を取り合うことになる。ハンブルク・エネルギー社は、差別化の目的で再生可能エネルギーなど環境にやさしいエネルギーで発電した電力を販売する予定である。地方自治体の電気事業への参入は、民間事業者の市場支配力の問題がクローズアップされる中で、ハンブルク市だけでなく、他の自治体にも拡がりをみせている。